

食品産業と農業の連携にかかる交流会 開催要領

1. 開催趣旨

食品産業は、消費者の信頼確保のため、食品の安全性確保、品質向上に努めるとともに、特色ある地域農産物を活用して付加価値の高い食品の開発・販売等に力を入れています。去る10月2日に東近江市で開かれた「全国うどんサミット2011in 滋賀」においては、当協議会の会員団体である滋賀県製麺工業協同組合が開発した、県産小麦「ふくさやか」100%使用の「近江牛うどん」が人気投票でグランプリに輝くなど、滋賀県にこだわった食品に注目が集まりました。

農業においては、農業経営の安定化や農産物の新規需要拡大のためには、従来の作るだけの農業から、「6次産業化」や「食品製造・加工との連携」への転換が求められています。

そこで今回、食品事業者と農業者のともに Win-Win の関係となるよう、多様な連携をめざし、相互理解を深めるための交流会を開催します。

2. 日 時

平成23年12月8日（木）午後3時～

3. 場 所

コラボしが21 3階中会議室2（大津市打出浜2-1）

4. 参加者

滋賀県食品産業協議会 会員

滋賀県青年農業者クラブ連絡協議会 会員

5. 内 容

第1部 意見交換会 15:00～17:00

(1) 話題提供：農業の6次産業化の現状について

近畿農政局大津地域センター 主任農政業務管理官 米田 和彦 様

滋賀県中小企業団体中央会 課長補佐 山田 俊明 様

(2) 出席者の取組紹介

(3) 意見交換

第2部 交流会（17:00～18:30）

会 場：コラボしが21 1階「コルネット」

参加費： 3千円